第３号様式の２（第９条の３）　　（表）

景観配慮協議申出書

2025年　10月　1日

（宛先）　鎌　倉　市　長

届出者　住　所　東京都大田区蒲田五丁目37番1号
　　氏　名　高砂香料工業(株)
　　代表取締役社長　桝村 聡
　　電　話　03（ 5744 ）0511

代理人　住　所　東京都大田区蒲田5-38-3蒲田朝日ビル
　　氏　名　株式会社 類設計室　東京事務所
　　取締役東京設計室長　岩井 裕介
　　電　話　03（ 5713 ）1010

（法人その他の団体にあっては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。）

次のとおり申し出ます。

土地利用類型の名称		産業地		
景観地区		□ 内（　　）　■ 外		
設計者	住所	東京都大田区蒲田5-38-3蒲田朝日ビル		
	氏名	株式会社　類設計室　東京事務所 取締役東京設計室長　岩井 裕介	電話	03（ 5713 ）1010
行為の場所	地名地番	鎌倉市梶原字古川232番1他1筆		
	用途地域	工業地域	防火地域	□ 防火　□ 準防火 ■ 指定なし
	その他	□ 風致地区　□ 歴史的風土保存区域　■ その他（ 建築基準法22条地域 ）		
行為の種類	建築物	■ 新築　□ 増築　□ 改築　□ 移転		
	開発	□ 土地の区画の変更　■ 土地の形質の変更		
特定地区		□ 内（□ 由比ガ浜　□ 由比ガ浜中央　□ 鎌倉芸術館周辺地区 ）　■ 外		
行為の期間		着手予定　2027年　3月　初旬	完了予定	2028年　11月　末

（裏）

<table>
<tr><td rowspan="11">建築物の概要</td><td colspan="2">用途</td><td colspan="5">研究所</td></tr>
<tr><td colspan="2">最高の高さ</td><td colspan="2">27.3m</td><td>階数</td><td colspan="2">地上 4階 地下 0階</td></tr>
<tr><td colspan="2">構造</td><td colspan="5">鉄骨造</td></tr>
<tr><td colspan="2">敷地面積</td><td colspan="5">33,021.16㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">建築面積</td><td>8,790.02㎡</td><td colspan="2">届出以外の部分 590.98㎡</td><td colspan="2">合計 9,381.00㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">延べ面積</td><td>31,282.42㎡</td><td colspan="2">届出以外の部分 478.58㎡</td><td colspan="2">合計31,761.00㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">屋上に設置する建築設備の種類及び高さ</td><td colspan="5">□ 高架水槽 m □ その他 m</td></tr>
<tr><td colspan="2">色彩の変更部分とその面積</td><td colspan="5">面積 ㎡</td></tr>
<tr><td rowspan="2">仕上材</td><td>屋根</td><td>屋上：RC直,ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護</td><td rowspan="2">色彩</td><td>屋根</td><td colspan="2">N6.5(銀鼠)</td></tr>
<tr><td>外壁</td><td>西側：ECP(常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗装),有孔折板(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂製粉末塗装),RC(左官調塗装/表面処理),ALﾙｰﾊﾞｰ
北,南,東側：ECP(常温乾燥形ふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ塗装), 有孔折板(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂製粉末塗装),ALC(防水形複層塗材),ALﾊﾟﾈﾙ</td><td>外壁</td><td colspan="2">RC:左官調塗装(N7.0(灰色)),表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))
ECP,ALC:N7.5(ｼﾙﾊﾞｰﾎﾜｲﾄ)
有孔折板,ALﾙｰﾊﾞｰ,ALﾊﾟﾈﾙ:N8.5(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))</td></tr>
<tr><td rowspan="3">開発行為の概要</td><td colspan="2">開発区域の面積</td><td colspan="5">35,362.39㎡</td></tr>
<tr><td colspan="2">行為の目的</td><td colspan="5">分割 (区画) (最小区画面積 ㎡)
その他 ( )</td></tr>
<tr><td colspan="2">行為の内容</td><td colspan="5">切土 (398.27㎥) 盛土 (41,078.05㎥)
その他 ( )</td></tr>
</table>

（注）１　仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。
（例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等）
２　色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。
３　この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第１に掲げる図書を添付してください。

第３号様式の３（第９条の３）

景 観 配 慮 に 関 す る 見 解 書

１．共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着　眼　点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	北側は村岡・深沢地区土地区画整理事業区域、南側は共同住宅及び商業施設の再開発地域という、これからの深沢地区の街並み形成の一端を担う地域
まち並みの連続性	西側は柏尾川、南側は新川が流れる、身近に水と緑を感じられる環境 天神山や等覚寺など緑地保全地区に囲まれ、富士山や大山が望める豊かな立地
周辺建物のデザイン	白やグレーなど無彩色を基調とした落ち着きある意匠形態や色彩の建物が多い
眺　望　景　観	柏尾川や北側道路など視線の抜けや開放感がある 古館橋を通じて藤沢市と連続する、まちの顔となるポテンシャルある立地
景　観　資　源	西側の柏尾川や南側の新川などの豊かな自然空間

２．建築物の建築

１で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項　目	自己評価	配 慮 事 項 記 入 欄
配　置	◎	前面道路からセットバックし周囲への圧迫感軽減、引きのある建物配置
形 態 意 匠	◎	東西側は建物を分節化し緑と多様な素材を使用しボリューム感を軽減 南北側はバルコニーと有孔折板で囲むことで圧迫感を抑えた形態
色　彩	◎	落ち着いた外部仕上材料とし緑豊かな周辺環境となじむ素材を使用 敷地内の建物は無彩色を基調とした色彩で統一し全体のまとまりを形成
建 築 設 備	○	外壁面や屋上部の設備機器類が周囲から見えない様、有孔折板や目隠し壁を設置し周辺景観に配慮
外 構 緑 化	◎	緑豊かな前庭空間や接道部緑化に加え、ずれて張り出すテラス空間も緑化することで地上から建物まで連続した立体的なランドスケープを形成

３．開発行為

１で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項　目	自己評価	配 慮 事 項 記 入 欄
造　成	◎	過度な盛土をおさえ、周囲道路と大きな高低差が生まれない造成計画 法面は周辺の景観へ配慮し、植生により保護を行う
擁　壁	△	極力擁壁の高さをおさえた設計
敷き際・緑化	◎	深みのある緑を敷き際に設けるとともに市のシンボルであるヤマザクラを列植し地域の植生に配慮、前庭は四季を感じさせる色鮮やかな植栽を配置

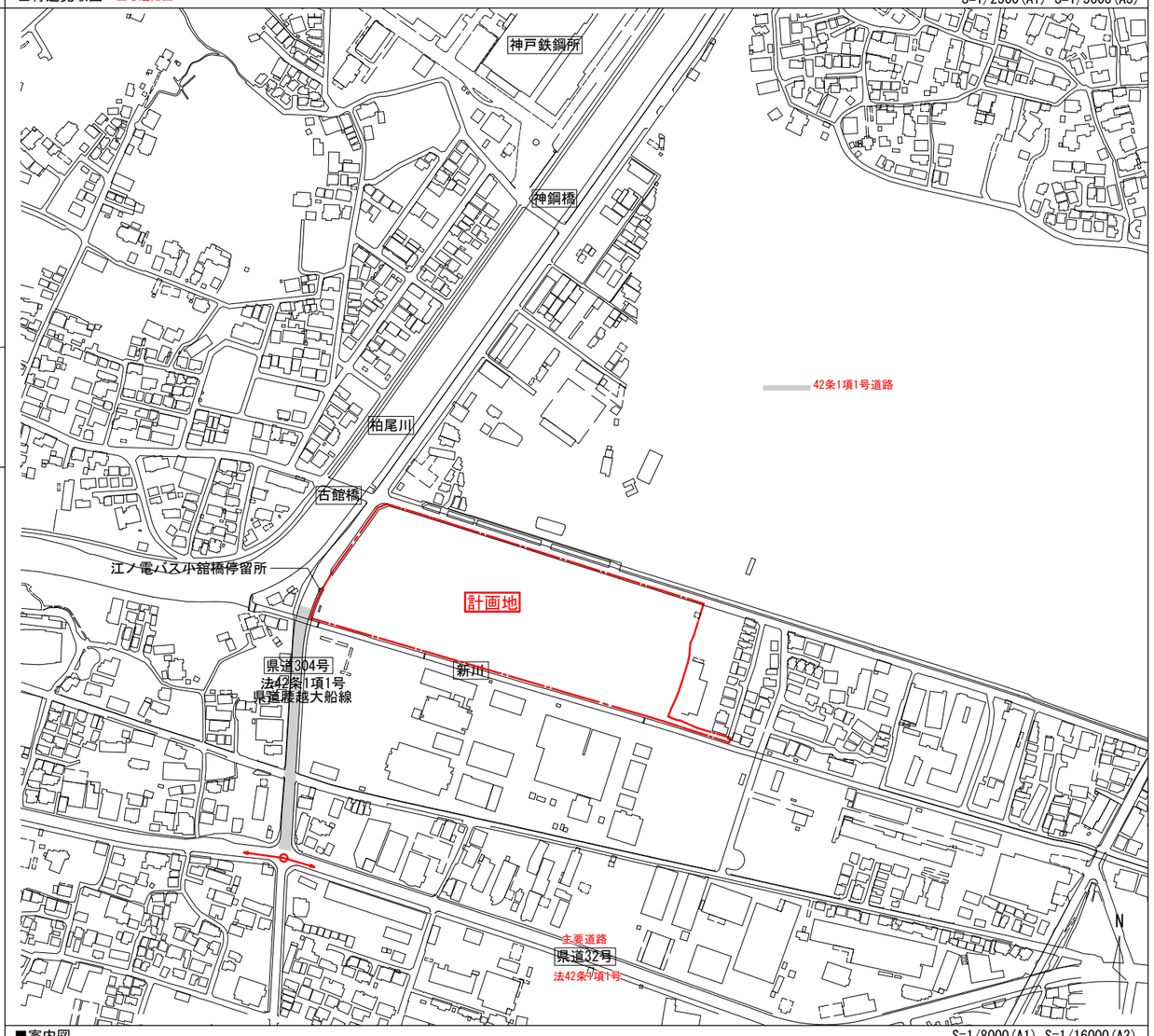
自己評価　◎：十分配慮した　○：配慮した　△：部分的に配慮した　×：配慮できなかった

■敷地概要

地名地番	神奈川県鎌倉市梶原字古川232番1他1筆	関連法規事項	建築基準法・消防法・全館避難安全検証法・都市計画法 危険物の規則に関する政令・ビル衛生管理法 高齢者,障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律　(バリアフリー法) 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法） 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネルギー法） 駐車場法・文化財保護法・騒音規制法・振動規制法 土壌汚染対策法・大気汚染防止法・悪臭防止法 廃棄物の処理および清掃に関する法律・労働安全衛生法 水道法・下水道法・電気事業法・景観法 特定都市河川浸水被害対策法 宅地造成及び特定盛土等規制法 高圧ガス保安法 神奈川県建築基準条例・鎌倉市建築基準条例 鎌倉市火災予防条例・鎌倉市まちづくり条例 鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例 鎌倉市都市景観条例　ほか
敷地面積	事業区域面積：35,362.39㎡ 公共公益施設提供面積：1,768.21㎡ 道路提供面積：573.02㎡ 建築基準法上の敷地面積：33,021.16㎡（事業区域面積-公共公益施設提供面積-道路提供面積）		
前面道路	西側道路：認定幅員12.0m　現況幅員12.52m～17.09m(法第42条1項1号道路・県道腰越大船線) 都市計画道路（神奈川県告示第441号）道路拡幅予定 北側道路：認定幅員6.0m　現況幅員6.13m～6.54m（法第42条1項1号道路・鎌倉市道044-000号線） ※一部深沢地区地区計画による道路拡幅予定 接道長さ：201.437m		
隣地状況	東側：低層住宅地		
	南側：新川		
用途地域	工業地域		
指定建蔽率	60%		
指定容積率	200%		
防火指定	防火地域の指定なし、法22条指定地域		
高度地区指定	第3種高度地区　31m 計画建物は工業系建築物（工場、事務所、倉庫等）に該当		
壁面後退	なし	その他規制	鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例 緑化基準：必要緑地面積、敷地面積の2/10。※芝生含む。 植栽本数、高木1本/10㎡　中木2本/10㎡　低木4~9本/㎡ 雨水抑制：新川右岸第2排水区に指定。雨水は原則新川に放流先とする。 鎌倉市都市景観条例 景観基準：基調色は、色相がR、YR、Yの場合は彩度６以下 その他の色相は彩度３以下。明度６以上とする。　ほか
日影規制	日影規制対象外　※敷地西側(柏尾川 対岸)は藤沢市1種住居地域(受影面4m 4-2.5h)に該当		
地域・地区	なし（文教地区,風致地区,地区計画,景観地区,埋蔵文化財包蔵地,航空障害物制限区域 非該当）		
想定地下水位	T.P.+5.56		

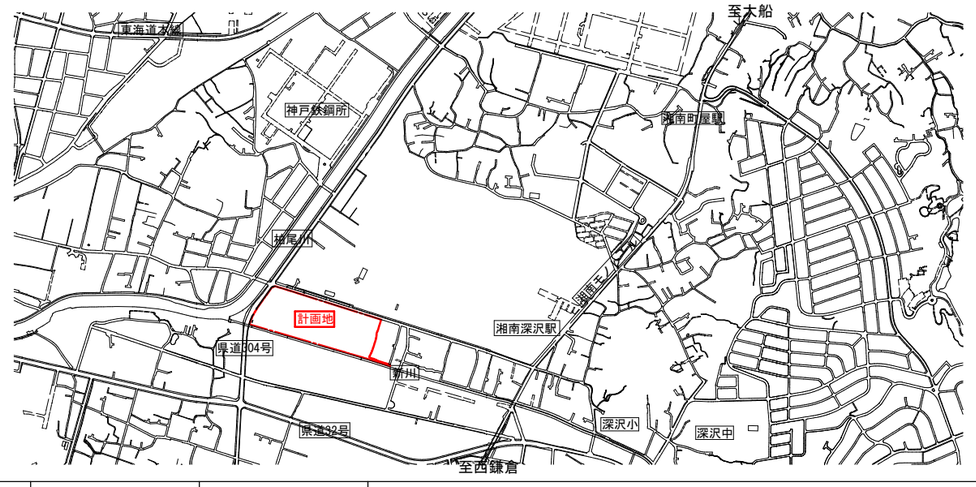
■付近見取図　至る道路図

S=1/2500(A1)　S=1/5000(A3)

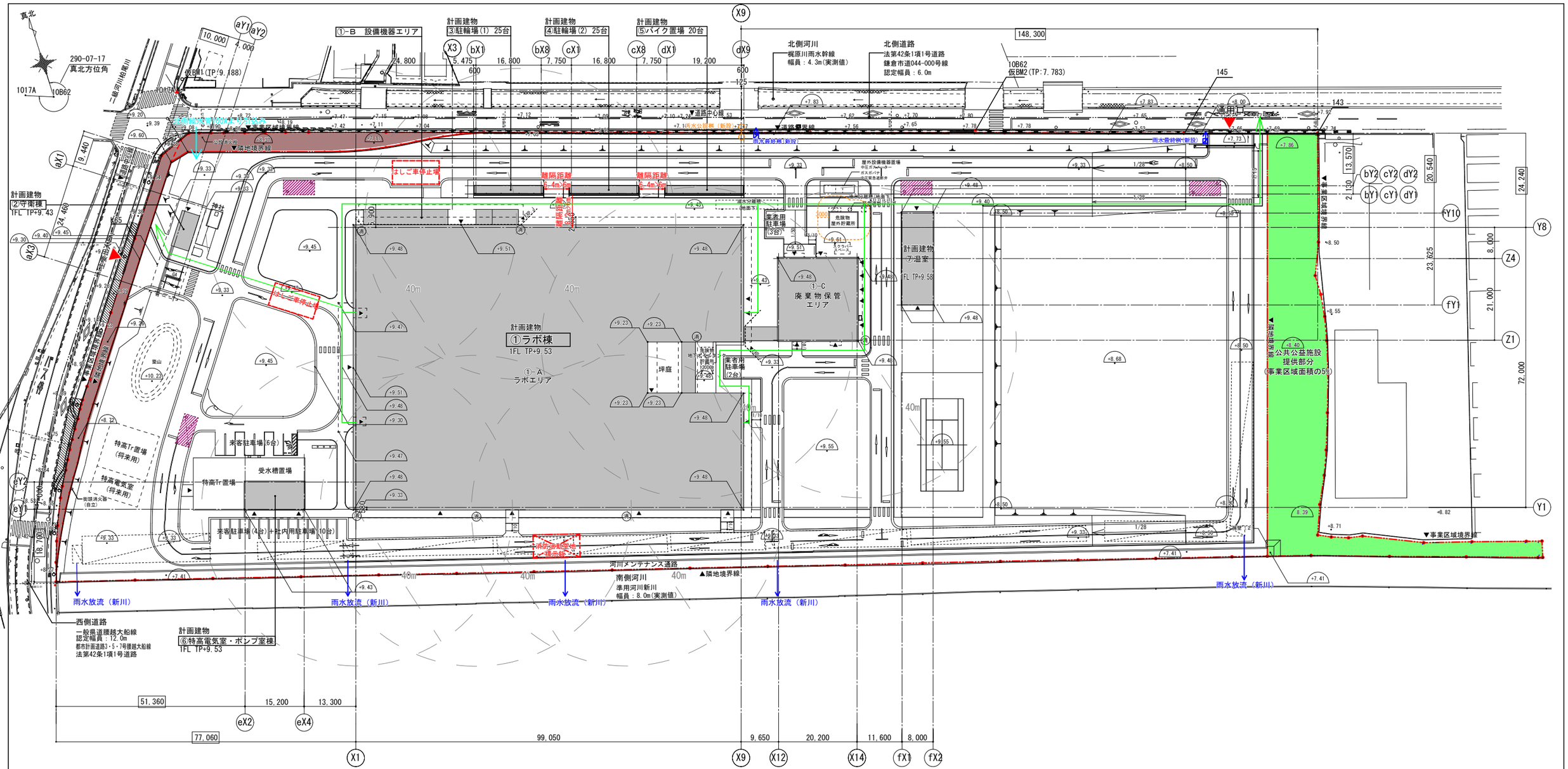


■案内図

S=1/8000(A1)　S=1/16000(A3)



										図面名称	敷地概要・建築概要・案内図・付近見取図
										縮尺	A1：図示 A3：図示



■ 凡 例

※鎌倉市開発事業条例：鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例
※仕様：（番号）は国交省建築工事標準詳細図（H28年度版）に依る

凡 例	項 目				
	建屋を示す	離隔距離	消防法施行令第27条 消防用水要否判定における外壁の中心線間離隔距離を示す。 ラボ棟と駐輪場(1) は１の建築物とする。 ラボ棟＋駐輪場(1)地上1階及び2階の床面積合計14,681.31㎡＜15,000㎡ 消防用水は不要とする		鎌倉市開発事業条例39条 消防活動空地 白線引き・標示鈑を設置
	上部庇、バルコニーを示す				
	歩道切下げ・復旧に伴う道路改修範囲				鎌倉市開発事業条例39条 はしご車停止場 W6m×D12mのスペースを確保
+4.55	現況地盤高さ(T.P.)		危険物政令第9条第1項第2号 保有空地		
+5.30	計画地盤高さ(T.P.)	消	消防法施行令第19条 屋外消火栓		鎌倉市開発事業条例第48条 雨水貯留槽（詳細は別紙による）
					鎌倉市開発事業条例第48条 雨水調整槽（詳細は別紙による）
					鎌倉市開発事業条例第49条 防火水槽（60t）
	法2条1項6号 延焼のおそれのある部分（1階：3m 2階以上：5m）				道路提供部分（鎌倉市・神奈川県）
	令128条 敷地内通路（W1.5m以上）				公共公益施設提供部分（鎌倉市）

■特記事項

配置基準
・○○○ は、基準となる境界点からの距離を示す。
【ラボ棟他】
・143-145を結んだ直線を基準線とする。
・基準線南側に平行移動させた線をラボエリアY8通りとする。
・基準線西側に移動した線を通り、基準線に直行した線をラボエリアX9通りとする。

【守衛棟】
・K66-K65を結んだ直線を基準線とする。
・基準線南東側に平行移動させた線をY1通りとする。
・基準線南西側に移動した線を通り、基準線に直行した線をX1通りとする。

図面名称 配置図

縮尺 A1: 1/500
A3: 1/1000

東側立面図(1)(景観)

南側立面図(1)(景観)

〈仕上げ〉

①	ECPt60(ﾌﾗｯﾄ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))	⑧	RC＋表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑮	St-PLt6.0溶融亜鉛めっきﾘﾝ酸処理
②	ECPt60(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))	⑨	有孔折板(既製品)(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑯	壁ﾀｲﾙ(石調)
③	ECPt75(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))	⑩	有孔折板(特注)(8.0(薄鈍色))	⑰	RC直､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護(N6.5(銀鼠))
④	ALCt150＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))	⑪	ALﾊﾟﾈﾙ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑤	ALCt100＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))	⑫	ALﾙｰﾊﾞｰ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑥	RC＋左官調塗装(N7.0(灰色))	⑬	配管/ﾀﾞｸﾄ用貫通ﾊﾟﾈﾙ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))		
⑦	RC＋左官調塗装(N8.0(薄鈍色))	⑭	目隠しALﾙｰﾊﾞｰ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ ﾎﾜｲﾄ))		

〈雑〉

1	AL製軒樋	8	ALハニカム庇
2	AL製縦樋（樋径は雨水排水系統図による）	9	AL笠木(オープン)
3	メンテ手すりA	10	AL笠木(クローズ)
4	メンテ手すりB	11	ECP天端笠木
5	手すりA	12	タラップ（背かご付き）
6	外壁ロゴサインB （内照式）		非常用進入口
7	AL庇		誘発目地

〈法令〉

	延焼のおそれのある部分

有孔折板A は下記の仕様とし、割合は1:1:1:1:1:1とする。

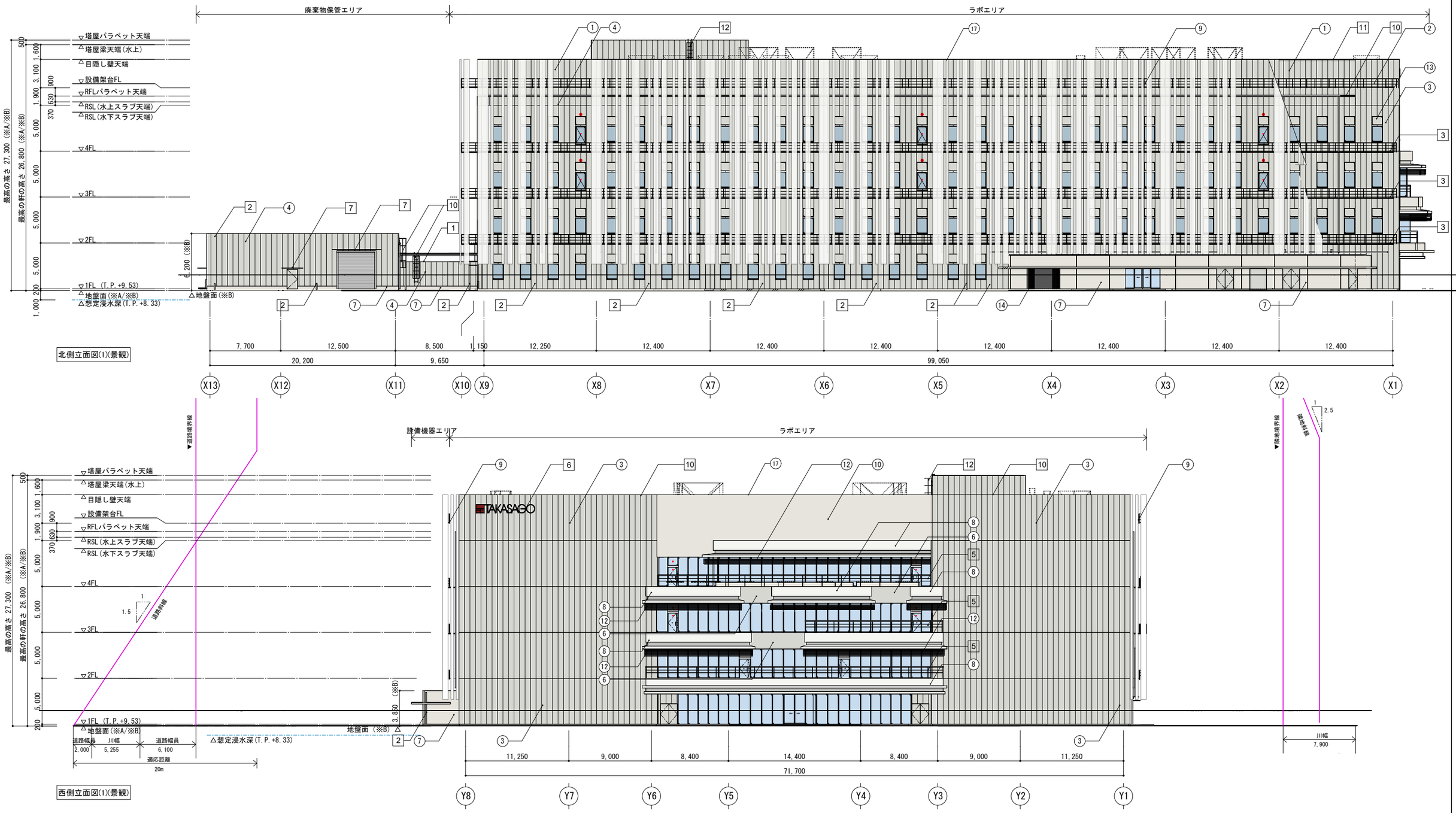
●有孔折板A 仕様
日幸産業YBパネル YBS175シリーズ
1．開口率50% YBS175-50 / 2．開口率40% YBS175-40
3．開口率33% YBS175-33 / 4．開口率30% YBS175-30
5．開口率27% YBS175-27 / 6．開口率22% YBS175-22
7．開口率20% YBS175-20
●ユニットパターン
W350 (2枚),W700 (4枚)
W875 (5枚),W1050 (6枚)
※()内はW175の有孔折板の枚数を示す。

各棟/エリアの地盤面及び最高の高さは以下とする。

(※A)確認申請書(第四面)
ラボ棟
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
(※B)確認申請書(第六面)
1-A. ラボ棟 ラボエリア
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
1-B. ラボ棟 設備機器エリア
地盤面：T.P.+9.40 ／ 最高の高さ：3,700
1-C. ラボ棟 廃棄物保管エリア
地盤面：T.P.+9.48 ／ 最高の高さ：6,200

図面名称 立面図(着彩あり)（1）

縮尺 A1：1/200
A3：1/400



〈仕上げ〉

①	ECPt60(ﾌﾗｯﾄ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))	⑧	RC＋表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑮	St-PLt6.0溶融亜鉛めっきリン酸処理
②	ECPt60(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))	⑨	有孔折板(既製品)(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑯	壁ﾀｲﾙ(石調)
③	ECPt75(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))	⑩	有孔折板(特注)(8.0(薄鈍色))	⑰	RC直､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護(N6.5(銀鼠))
④	ALCt150＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))	⑪	ALﾊﾟﾈﾙ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑤	ALCt100＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))	⑫	ALﾙｰﾊﾞｰ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑥	RC＋左官調塗装(N7.0(灰色))	⑬	配管/ﾀﾞｸﾄ用貫通ﾊﾟﾈﾙ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))		
⑦	RC＋左官調塗装(N8.0(薄鈍色))	⑭	目隠しALﾙｰﾊﾞｰ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ･ホワイト))		

〈雑〉

1	AL製軒樋	8	ALハニカム庇
2	AL製縦樋（樋径は雨水排水系統図による）	9	AL笠木(オープン)
3	メンテ手すりA	10	AL笠木(クローズ)
4	メンテ手すりB	11	ECP天端笠木
5	手すりA	12	タラップ（背かご付き）
6	外壁ロゴサインB （内照式）		非常用進入口
7	AL庇		誘発目地

〈法令〉

	延焼のおそれのある部分

有孔折板A は下記の仕様とし、割合は1:1:1:1:1:1とする。

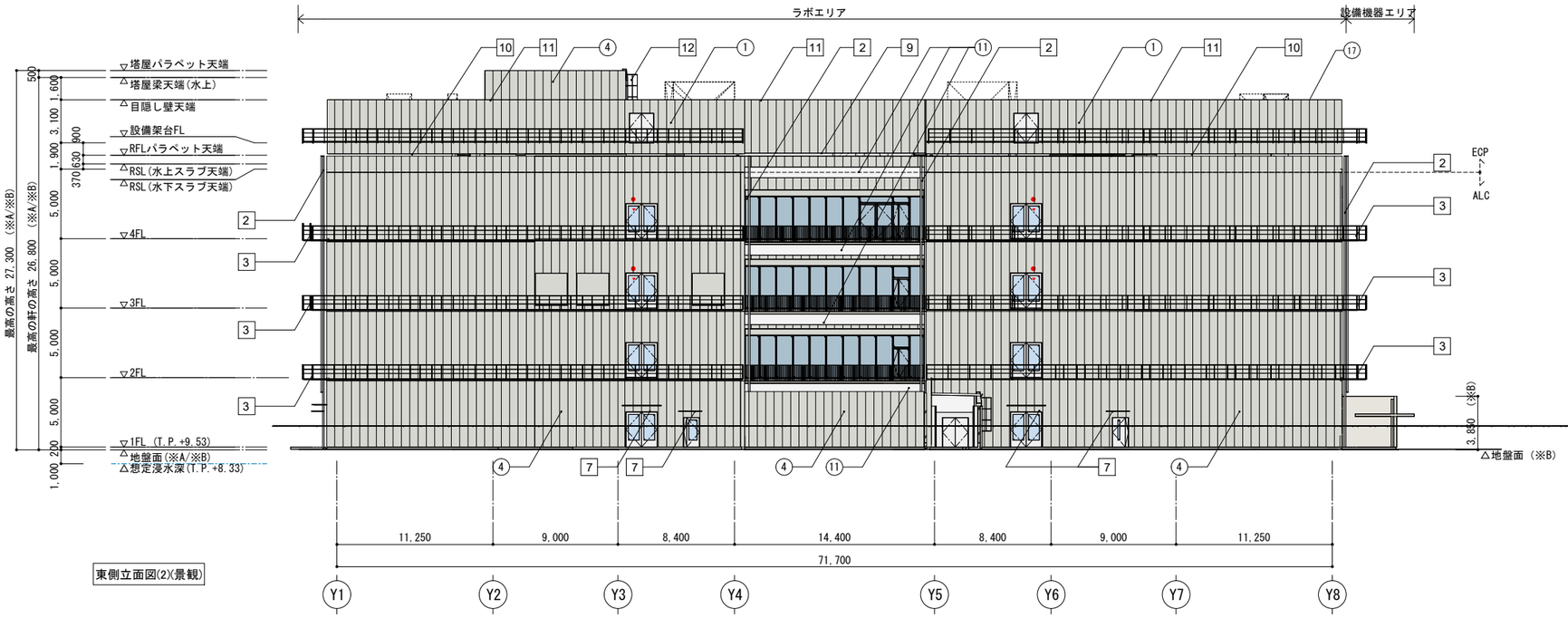
●有孔折板A 仕様
日幸産業YBパネル　YBS175シリーズ
1．開口率50%　YBS175-50 / 2．開口率40%　YBS175-40
3．開口率33%　YBS175-33 / 4．開口率30%　YBS175-30
5．開口率27%　YBS175-27 / 6．開口率22%　YBS175-22
7．開口率20%　YBS175-20
●ユニットパターン
W350（2枚),W700（4枚）
W875（5枚),W1050（6枚）
※()内はW175の有孔折板の枚数を示す。

各棟/エリアの地盤面及び最高の高さは以下とする。

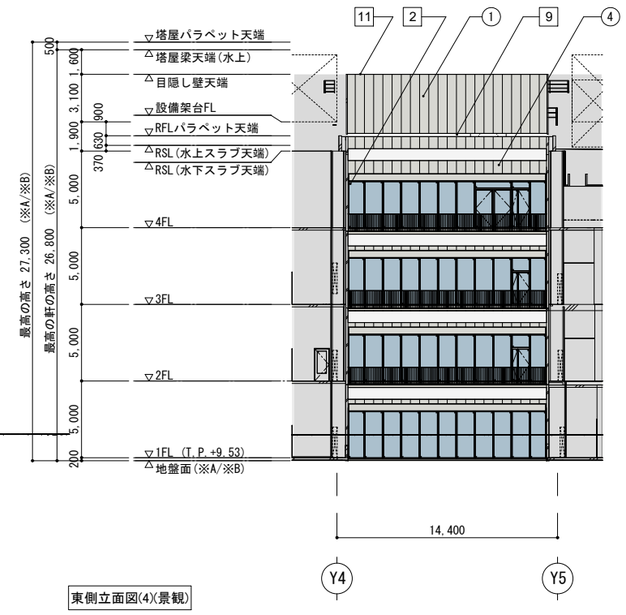
(※A)確認申請書(第四面)
ラボ棟
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
(※B)確認申請書(第六面)
1-A. ラボ棟 ラボエリア
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
1-B. ラボ棟 設備機器エリア
地盤面：T.P.+9.40 ／ 最高の高さ：3,700
1-C. ラボ棟 廃棄物保管エリア
地盤面：T.P.+9.48 ／ 最高の高さ：6,200

図面名称　立面図(着彩あり)（２）

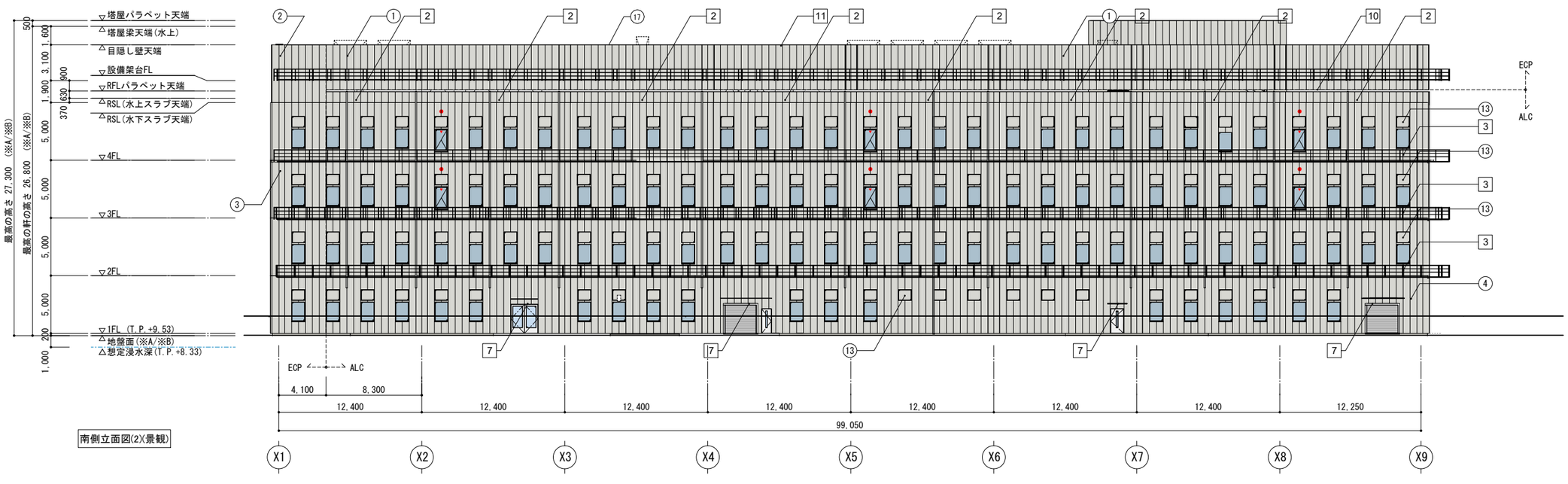
縮尺　A1：1/200
A3：1/400



東側立面図(2)(景観)



東側立面図(4)(景観)



南側立面図(2)(景観)

〈仕上げ〉

①	ECPt60(ﾌﾗｯﾄ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))	⑧	RC＋表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑮	St-PL t6.0溶融亜鉛めっきﾘﾝ酸処理
②	ECPt60(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))	⑨	有孔折板(既製品)(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑯	壁ﾀｲﾙ(石調)
③	ECPt75(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))	⑩	有孔折板(特注)(8.0(薄鈍色))	⑰	RC直､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護(N6.5(銀鼠))
④	ALCt150＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))	⑪	ALﾊﾟﾈﾙ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑤	ALCt100＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))	⑫	ALﾙｰﾊﾞｰ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑥	RC＋左官調塗装(N7.0(灰色))	⑬	配管/ﾀﾞｸﾄ用貫通ﾊﾟﾈﾙ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))		
⑦	RC＋左官調塗装(N8.0(薄鈍色))	⑭	目隠しALﾙｰﾊﾞｰ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ/ﾎﾜｲﾄ))		

〈雑〉

1	AL製軒樋	8	ALハニカム庇
2	AL製縦樋（樋径は雨水排水系統図による）	9	AL笠木(オープン)
3	メンテ手すりA	10	AL笠木(クローズ)
4	メンテ手すりB	11	ECP天端笠木
5	手すりA	12	タラップ（背かご付き）
6	外壁ロゴサインB （内照式）		非常用進入口
7	AL庇		誘発目地

〈法令〉

	延焼のおそれのある部分

有孔折板A は下記の仕様とし、割合は1:1:1:1:1:1:1とする。

●有孔折板A 仕様
日幸産業YBパネル YBS175シリーズ
1．開口率50% YBS175-50 / 2．開口率40% YBS175-40
3．開口率33% YBS175-33 / 4．開口率30% YBS175-30
5．開口率27% YBS175-27 / 6．開口率22% YBS175-22
7．開口率20% YBS175-20
●ユニットパターン
W350 (2枚),W700 (4枚)
W875 (5枚),W1050 (6枚)
※()内はW175の有孔折板の枚数を示す。

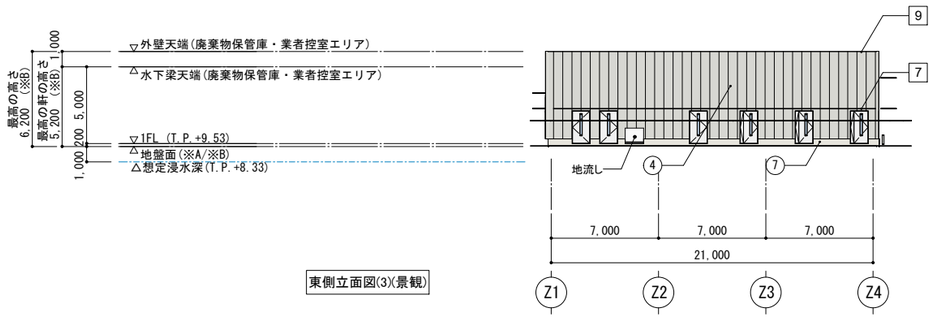
各棟/エリアの地盤面及び最高の高さは以下とする。

(※A)確認申請書(第四面)
ラボ棟
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
(※B)確認申請書(第六面)
1-A. ラボ棟 ラボエリア
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
1-B. ラボ棟 設備機器エリア
地盤面：T.P.+9.40 ／ 最高の高さ：3,700
1-C. ラボ棟 廃棄物保管エリア
地盤面：T.P.+9.48 ／ 最高の高さ：6,200

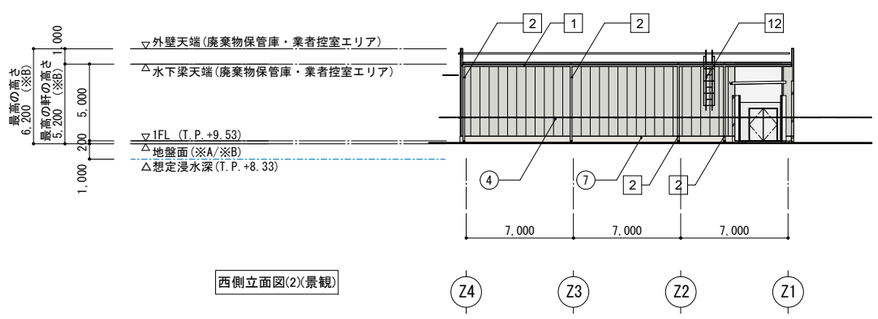
図面名称 立面図(着彩あり)（３）

縮尺 A1：1/200
A3：1/400

北側立面図(2)(景観)



東側立面図(3)(景観)



西側立面図(2)(景観)

〈仕上げ〉

①	ECPt60(ﾌﾗｯﾄ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑧	RC＋表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑮	St-PLt6.0溶融亜鉛めっきﾘﾝ酸処理
②	ECPt60(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑨	有孔折板(既製品)(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑯	壁ﾀｲﾙ(石調)
③	ECPt75(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑩	有孔折板(特注)(8.0(薄鈍色))	⑰	RC直､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護(N6.5(銀鼠))
④	ALCt150＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑪	ALﾊﾟﾈﾙ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑤	ALCt100＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑫	ALﾙｰﾊﾞｰ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑥	RC＋左官調塗装(N7.0(灰色))	⑬	配管/ﾀﾞｸﾄ用貫通ﾊﾟﾈﾙ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))		
⑦	RC＋左官調塗装(N8.0(薄鈍色))	⑭	目隠しALﾙｰﾊﾞｰ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))		

〈雑〉

1	AL製軒樋	8	ALハニカム庇		
2	AL製縦樋（樋径は雨水排水系統図による）	9	AL笠木(オープン)		
3	メンテ手すりA	10	AL笠木(クローズ)		
4	メンテ手すりB	11	ECP天端笠木		
5	手すりA	12	タラップ（背かご付き）		
6	外壁ロゴサインB （内照式）		非常用進入口		
7	AL庇		誘発目地		

〈法令〉

	延焼のおそれのある部分

有孔折板A は下記の仕様とし、割合は1:1:1:1:1:1とする。

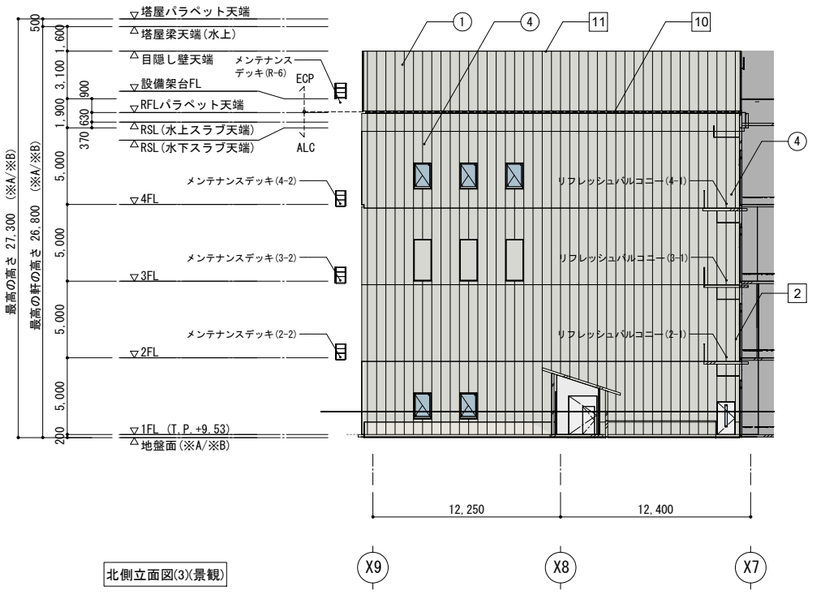
●有孔折板A 仕様
日幸産業YBパネル YBS175シリーズ
1．開口率50% YBS175-50 / 2．開口率40% YBS175-40
3．開口率33% YBS175-33 / 4．開口率30% YBS175-30
5．開口率27% YBS175-27 / 6．開口率22% YBS175-22
7．開口率20% YBS175-20
●ユニットパターン
W350 (2枚),W700 (4枚)
W875 (5枚),W1050 (6枚)
※()内はW175の有孔折板の枚数を示す。

各棟/エリアの地盤面及び最高の高さは以下とする。

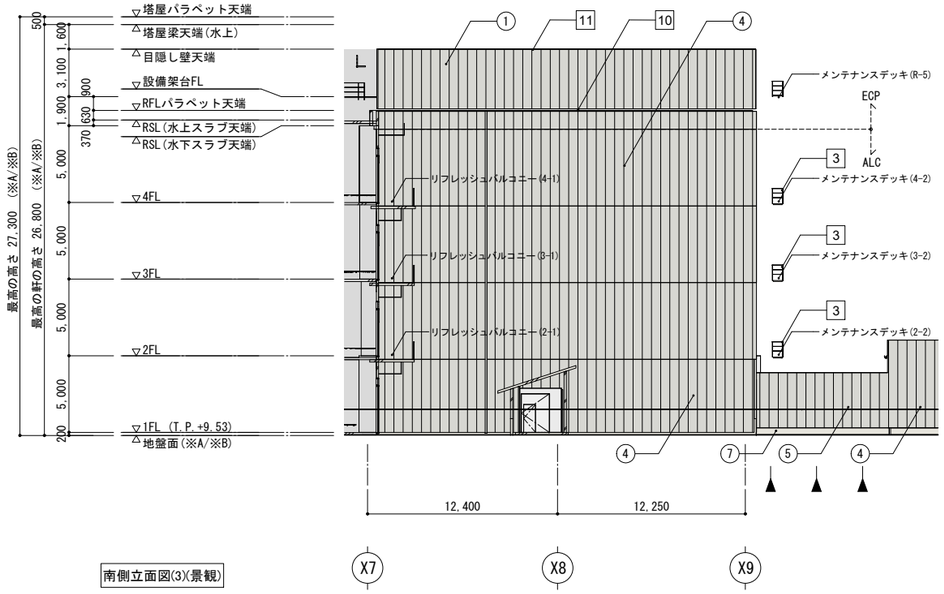
(※A)確認申請書(第四面)
ラボ棟
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
(※B)確認申請書(第六面)
1-A. ラボ棟 ラボエリア
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
1-B. ラボ棟 設備機器エリア
地盤面：T.P.+9.40 ／ 最高の高さ：3,700
1-C. ラボ棟 廃棄物保管エリア
地盤面：T.P.+9.48 ／ 最高の高さ：6,200

図面名称 立面図(着彩あり)（４）

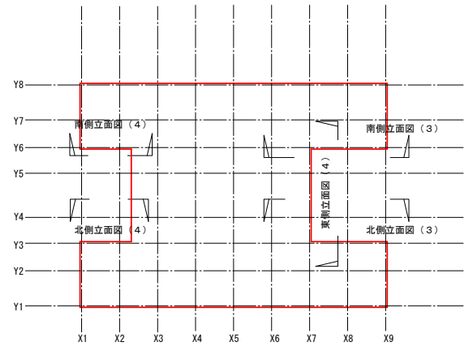
縮尺 A1：1/200
A3：1/400



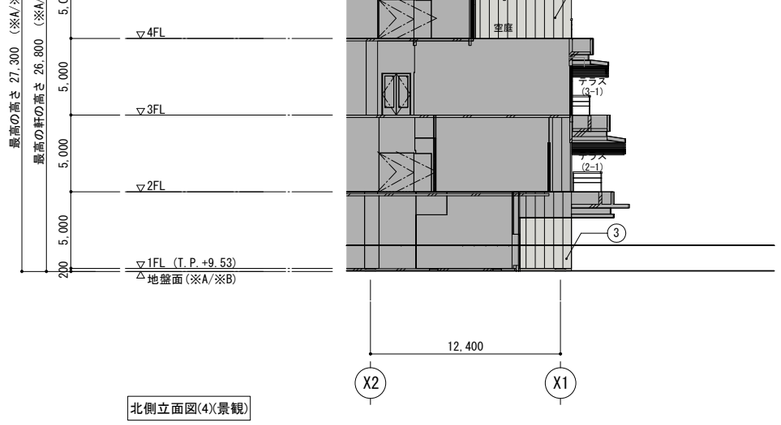
北側立面図(3)(景観)



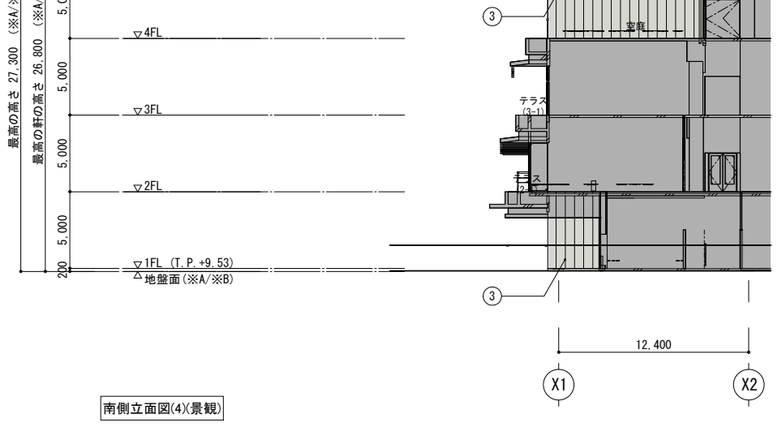
南側立面図(3)(景観)



キープラン



北側立面図(4)(景観)



南側立面図(4)(景観)

〈仕上げ〉

①	ECPt60(ﾌﾗｯﾄ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑧	RC＋表面処理(N8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑮	St-PLt6.0溶融亜鉛めっきﾘﾝ酸処理
②	ECPt60(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑨	有孔折板(既製品)(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))	⑯	壁ﾀｲﾙ(石調)
③	ECPt75(ﾘﾌﾞ)＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑩	有孔折板(特注)(8.0(薄鈍色))	⑰	RC直､ｱｽﾌｧﾙﾄ防水保護(N6.5(銀鼠))
④	ALCt150＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑪	ALﾊﾟﾈﾙ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑤	ALCt100＋塗装(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))	⑫	ALﾙｰﾊﾞｰ(8.5(ﾗｲﾄｸﾞﾚｰ))		
⑥	RC＋左官調塗装(N7.0(灰色))	⑬	配管/ﾀﾞｸﾄ用貫通ﾊﾟﾈﾙ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))		
⑦	RC＋左官調塗装(N8.0(薄鈍色))	⑭	目隠しALﾙｰﾊﾞｰ(N7.5(ｼﾙﾊﾞｰ&ホワイト))		

〈雑〉

1	AL製軒樋	8	ALハニカム庇		誘発目地
2	AL製縦樋（樋径は雨水排水系統図による）	9	AL笠木(オープン)		
3	メンテ手すりA	10	AL笠木(クローズ)		
4	メンテ手すりB	11	ECP天端笠木		
5	手すりA	12	タラップ（背かご付き）		
6	外壁ロゴサインB （内照式）		非常用進入口		
7	AL庇				

〈法令〉

	延焼のおそれのある部分

有孔折板A は下記の仕様とし、割合は1:1:1:1:1:1:1とする。

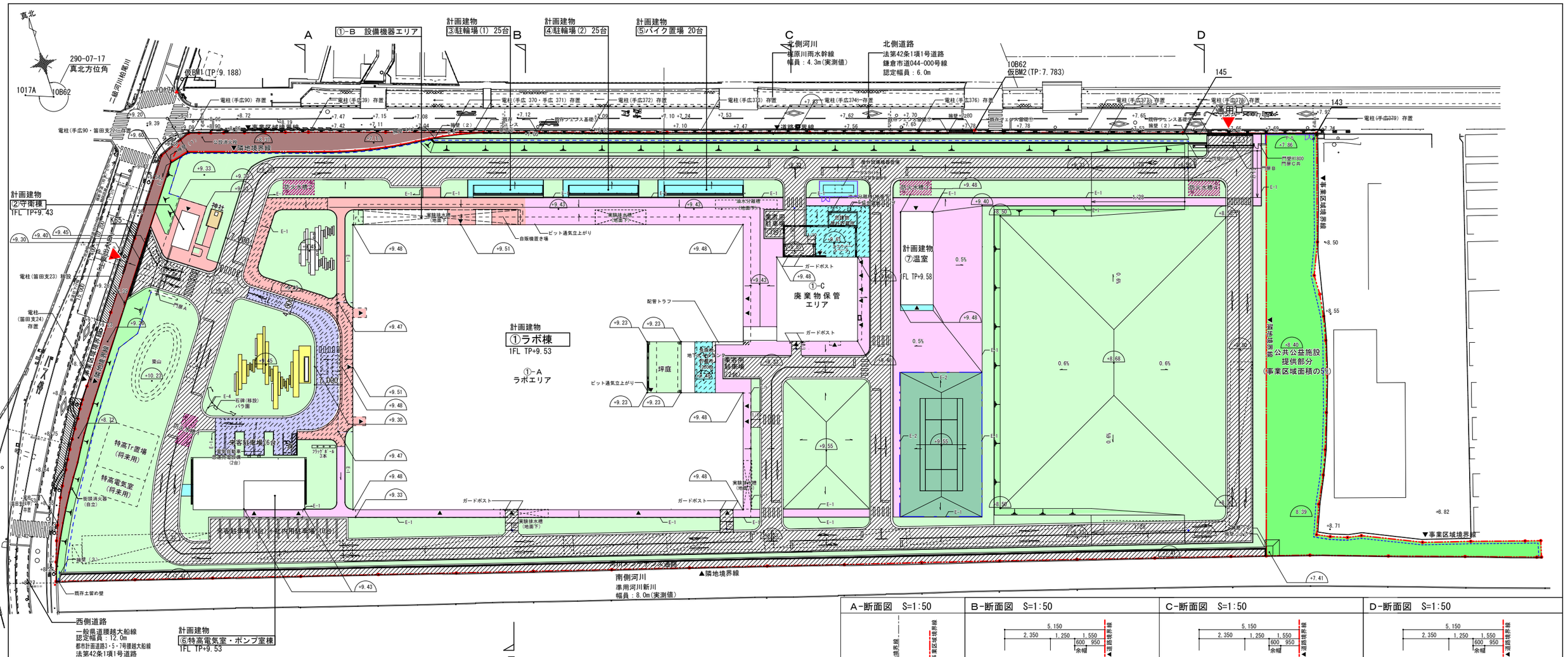
●有孔折板A 仕様
日幸産業YBパネル YBS175シリーズ
1．開口率50% YBS175-50 / 2．開口率40% YBS175-40
3．開口率33% YBS175-33 / 4．開口率30% YBS175-30
5．開口率27% YBS175-27 / 6．開口率22% YBS175-22
7．開口率20% YBS175-20
●ユニットパターン
W350 (2枚),W700 (4枚)
W875 (5枚),W1050 (6枚)
※()内はW175の有孔折板の枚数を示す。

各棟/エリアの地盤面及び最高の高さは以下とする。

(※A)確認申請書(第四面)
ラボ棟
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
(※B)確認申請書(第六面)
1-A. ラボ棟 ラボエリア
地盤面：T.P.+9.33 ／ 最高の高さ：27,300
1-B. ラボ棟 設備機器エリア
地盤面：T.P.+9.40 ／ 最高の高さ：3,700
1-C. ラボ棟 廃棄物保管エリア
地盤面：T.P.+9.48 ／ 最高の高さ：6,200

図面名称 立面図(着彩あり)（５）

縮尺 A1：1/200
A3：1/400



■特記事項

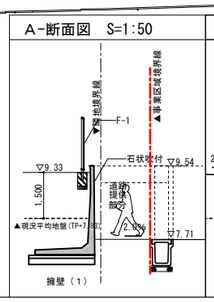
●危険物貯蔵所（屋外）
3面コンクリート塀を設置し、床をコンクリート舗装とする。
塀は国交省建築標準詳細図令和４年版門柱9-31の
H寸法1,500とし、底盤幅を800とする。
コンクリート塀、扉の仕上げは、フッ素樹脂塗装とする。
油水分離槽（4槽式）を設置する。

●石碑(総合研究所)、石碑(バラ園)移設
現在の所在地：平塚市西八幡1-4-11
見積範囲：生捕り(基礎共)、運搬、今回計画地に設置するまで
石碑(総合研究所)　サイズ：W1500×D400×H800程度(基礎は、平面同サイズでH800とする)
石碑(バラ園)　サイズ：W900×D900程度(基礎は、平面同サイズでH500とする)

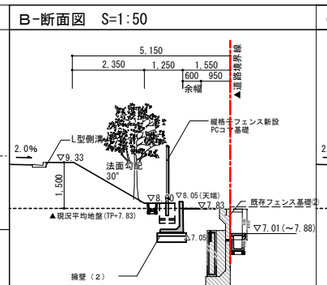
■外構工作物の躯体レベル

オイルタンクの躯体天端は、TP+9.48～の追い出し。外構レベル：TP+9.48
油水分離槽の躯体天端は、TP+8.93～の追い出し。外構レベル：TP+9.43
防火水槽１の躯体天端は、TP+8.33～の追い出し。外構レベル：TP+9.33
防火水槽２の躯体天端は、TP+8.88～の追い出し。外構レベル：TP+9.38
防火水槽３の躯体天端は、TP+8.88～の追い出し。外構レベル：TP+9.38
防火水槽４の躯体天端は、TP+7.38～の追い出し。外構レベル：TP+7.88
※防火水槽は、外構レベル迄のマンホール頭部PCを見込む事

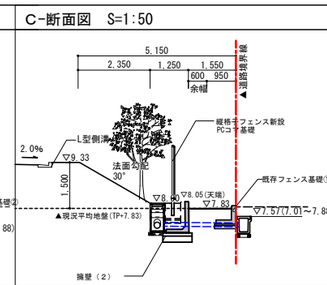
A-断面図 S=1:50



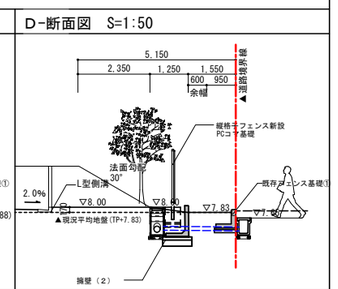
B-断面図 S=1:50



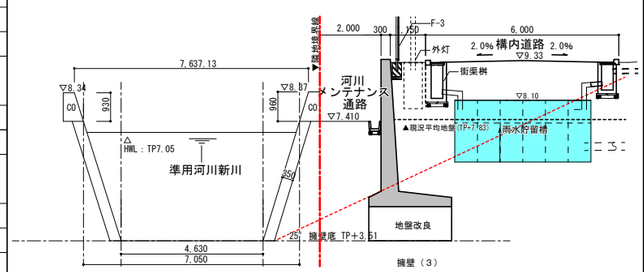
C-断面図 S=1:50



D-断面図 S=1:50



E-断面図 S=1:50

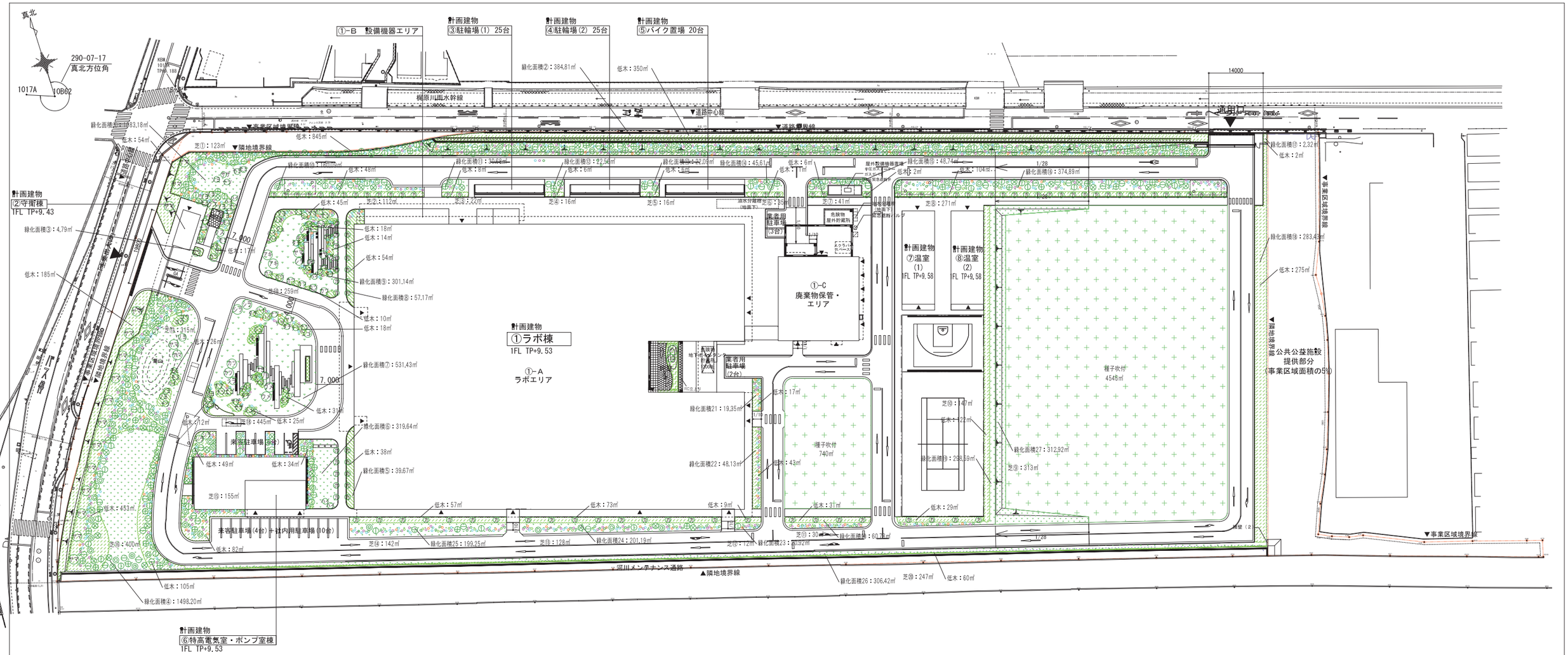


■ 凡 例

※仕様 （番号）は国交省建築工事標準詳細図（H28年度版）に依る

凡 例	項 目				
	建屋を示す	E-1	E-1 縁石 (9-11-5準) ※部分詳細図の（歩道）は（植栽面）と読み替え、舗装面と植栽面の高さの差を50とする。	テニスコート	コートライン、テニスポスト、テニスネット、センター金具、センターベルト他一式
	庇、ブリッジを示す	E-2	E-2 縁石 (9-11-9準)	3on3コート	コートライン、ゴール他一式
	道路提供部分（アスファルト舗装 (9-22-1準 路盤厚150／縁石E-2設置共）	E-3	E-3 縁石 (9-11-8準) ※段差20mm以内		横断歩道 （白）溶融式
	公共公益施設提供部分(整地のまま)	E-4	E-4 見切り材A （曲線用）		矢印 （白）溶融式
	アスファルト舗装 (9-21-1準 路盤厚250) 25t耐圧		F-1 アルミ格子フェンス H=1,800 独立基礎		
	カラーアスファルト舗装 (9-22-5 路盤厚150)		F-2 メッシュフェンス H=1,800 擁壁天端		停止線 （白）溶融式
	ゴムチップ舗装 (9-23-5 路盤厚150)		F-3 メッシュフェンス H=1,800 独立基礎	+4.55	現況地盤高さ(T.P.)
	砂入り人工芝 （砂入り人工芝19＋開粒アスコン(5㎜トップ)30＋開粒アスコン(13㎜トップ)40＋砕石150）		F-4 防球ネット（金網）H=4,000 支柱：φ114.3×2.3×5450 RC基礎：φ450×H1300＋砕石150	+5.30	計画地盤高さ(T.P.)
	コンクリート舗装 (9-21-2 コンクリート版厚150 路盤厚150 但し、ハッチ部は路盤厚350)		F-5 目隠しフェンス H=1800 独立基礎		
	インターロッキングブロックA 舗装 (ハッチ有りエリア・25t耐圧：t80 9-21-4 アスファルト路盤t100+路盤 T=250) (ハッチ無しエリア・歩行用 ：t60 9-23-2 路盤T=100)		F-A 既存フェンスA（存置）		
	インターロッキングブロックB 舗装 (別紙による)	GA	車両ゲート（バーゲート）		
	小舗石舗装 (9-23-4準 石厚90 コンクリート盤厚100溶接金網 路盤厚350)		水勾配（特記なき限り 車道部２％ 歩道部１％とする）		地流し (8-22-1準)
	植栽地(別紙による)		L型側溝（車道用）※車道両側に設置する (9-11-2)		歩道切下げ・復旧に伴う道路改修範囲（既存ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装(9-22-1準)撤去・新設＋県道側は街渠(9-11-4準)撤去・新設）
	玉砂利舗装			消	屋外消火栓

								図面名称	外構計画図（舗装・囲障）
								縮尺	A1：1/500 A3：1/1000



【新植高木（景観木・前庭エリア）】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
高木	カツ	カツラ（大）	7.0	0.5	3.0	10	本	地下式支柱
	ヤマ	ヤマザクラ	6.0	0.4	2.5	20	本	地下式支柱
	シラ	シラカシ株立ち	6.0	5本以上	－	7	本	地下式支柱
	クス	クスノキ	6.0	0.7	2.5	2	本	地下式支柱
	アキ	アキニレ	5.0	0.3	2.0	2	本	地下式支柱
	モミ	ヤマモミジ株立ち	4.0	4本以上	－	11	本	地下式支柱
	エゴ	エゴノキ株立ち	4.0	4本以上	－	5	本	地下式支柱
	ウメ	シダレウメ	4.0	0.21	1.0	2	本	地下式支柱
	カ	カツラ（小）	3.5	0.18	1.5	101	本	地下式支柱
	ナツ	ナツツバキ株立ち	3.5	4本以上	－	15	本	地下式支柱
	ジュ	ジューンベリー株立ち	3.5	4本以上	－	7	本	地下式支柱
	ロウ	ロウバイ	3.5	0.21	1.2	4	本	地下式支柱
	ソヨ	ソヨゴ株立ち	3.5	4本以上	－	16	本	地下式支柱
	ハイ	ハイノキ株立ち	3.5	4本以上	－	16	本	地下式支柱
	サザ	サザンカ	3.5	0.18	1.0	7	本	地下式支柱
	タチ	タチバナ	3.5	0.18	1.2	7	本	地下式支柱
	イロ	イロハモミジ株立ち	3.5	4本以上	－	2	本	坪庭・地下式支柱
		高 木 合 計				234	本	

【新植高木（外周部他エリア）】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
高木	⊖	タブノキ	3.5	0.21	1.0	86	本	二脚鳥居支柱
	ⓘ	シラカシ	3.5	0.18	1.0	86	本	二脚鳥居支柱
	⊕	シロダモ	3.5	0.18	1.0	86	本	二脚鳥居支柱
	⊗	イヌシデ	3.5	0.21	1.2	86	本	二脚鳥居支柱
	◎	エゴノキ	3.5	0.15	1.2	85	本	二脚鳥居支柱
		高 木 合 計				429	本	

【新植中木】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
中木	○	キンマサキ	1.5	－	0.5	400	本	添え柱支柱
	○	トキワマンサク（白花）	1.5	－	0.5	400	本	添え柱支柱
	○	タイサンボク・リトルジェム	1.5	－	0.5	111	本	添え柱支柱
	○	ウンナンオガタマ	1.5	－	0.5	110	本	添え柱支柱
	○	ヒメユズリハ	1.5	－	0.5	300	本	添え柱支柱
		中 木 合 計				1321	本	

【新植低木混植】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
低木混植		アベリア	0.4	－	0.3	3750	株	5株/m²
		サツキツツジ	0.4	－	0.5	3760	株	5株/m²
		ヒラドツツジ	0.4	－	0.4	3760	株	5株/m²
		マルハシャリンバイ	0.4	－	0.3	3760	株	5株/m²
								混植割合＝1：1：1：1
		ユキヤナギ	0.4	2本立	－	215	株	5株/m²
		ヤマブキ	0.4	2本立	－	215	株	5株/m²
		マホニアコンフューサー	0.4	2本立	－	215	株	5株/m²
		フイリハクチョウゲ	0.4	－	0.2	220	株	5株/m²
		ムクゲ	0.5	－	－	215	株	5株/m²
		ヤマハギ	L0.3	5芽立	－	215	株	5株/m²
								混植割合＝1：1：1：1：1：1
		シャリンバイ	0.5	－	0.4	30	株	坪庭・5株/m²
		ヒラドツツジ	0.4	－	0.4	300	株	5株/m²
		低 木 合 計				16655	株	

【新植低木地被混植】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
低木地被混植		アジサイ	0.4	2本立	－	49	株	5株/m²
		ボタン	0.4	2本立	－	49	株	5株/m²
		マホニアコンフューサー	0.4	2本立	－	49	株	5株/m²
		フイリハクチョウゲ	0.4	－	0.2	49	株	5株/m²
		ブリペット・レモンアンドライム	0.4	－	0.4	49	株	5株/m²
		アヤメ	L0.3	10.5VP	－	210	pot	25pot/m²
								混植割合＝1：1：1：1：1：1
		低 木 合 計				245	株	
		地 被 合 計				210	pot	

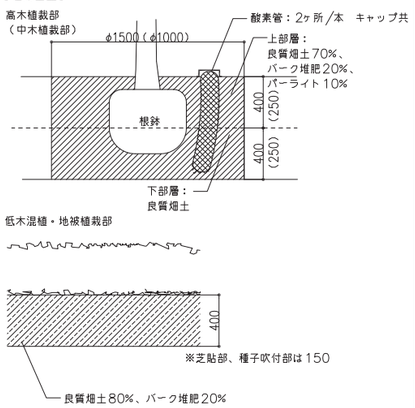
【新植地被】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
地被		改良コウライシバ	－	－	－	3230	m²	ベタ貼
		タマリュウ	－	－	－	30	m²	坪庭・マット貼
		地 被 合 計				3260	m²	

【種子吹付】

	記号	樹種名	形状寸法 H	C	W	数量	単位	備考
地被		白クローバー種子吹付	－	－	－	5285	m²	
		地 被 合 計				5285	m²	

【植栽基盤】



【緑化条例】（坪庭植栽を除く）

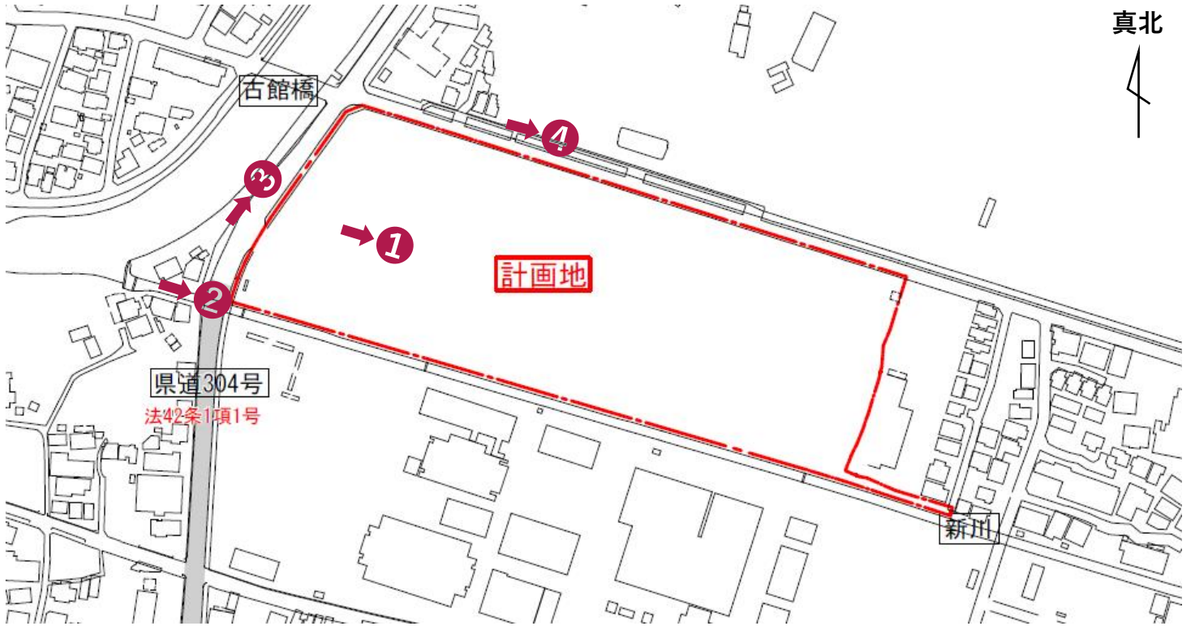
種類	計画本数	必要本数
高木	661本	≧ 661本
中木	1321本	≧ 1321本
低木	16870本	≧ 16511本

図面名称 外構計画図（植栽-1）

縮尺 A1：1/500
A3：1/1000

現況写真

❶ 敷地内



❷ 敷地周辺（南側：新川）

❸ 敷地周辺（西側：県道）

❹ 敷地周辺（北側：市道）

Copyright © OBAYASHI CORPORATION and RUI SEKKEISITSU Co., Ltd. All Rights Reserved.

鳥瞰パース

「香りの森」をつくる

Copyright © OBAYASHI CORPORATION and RUI SEKKEISITSU Co., Ltd. All Rights Reserved.